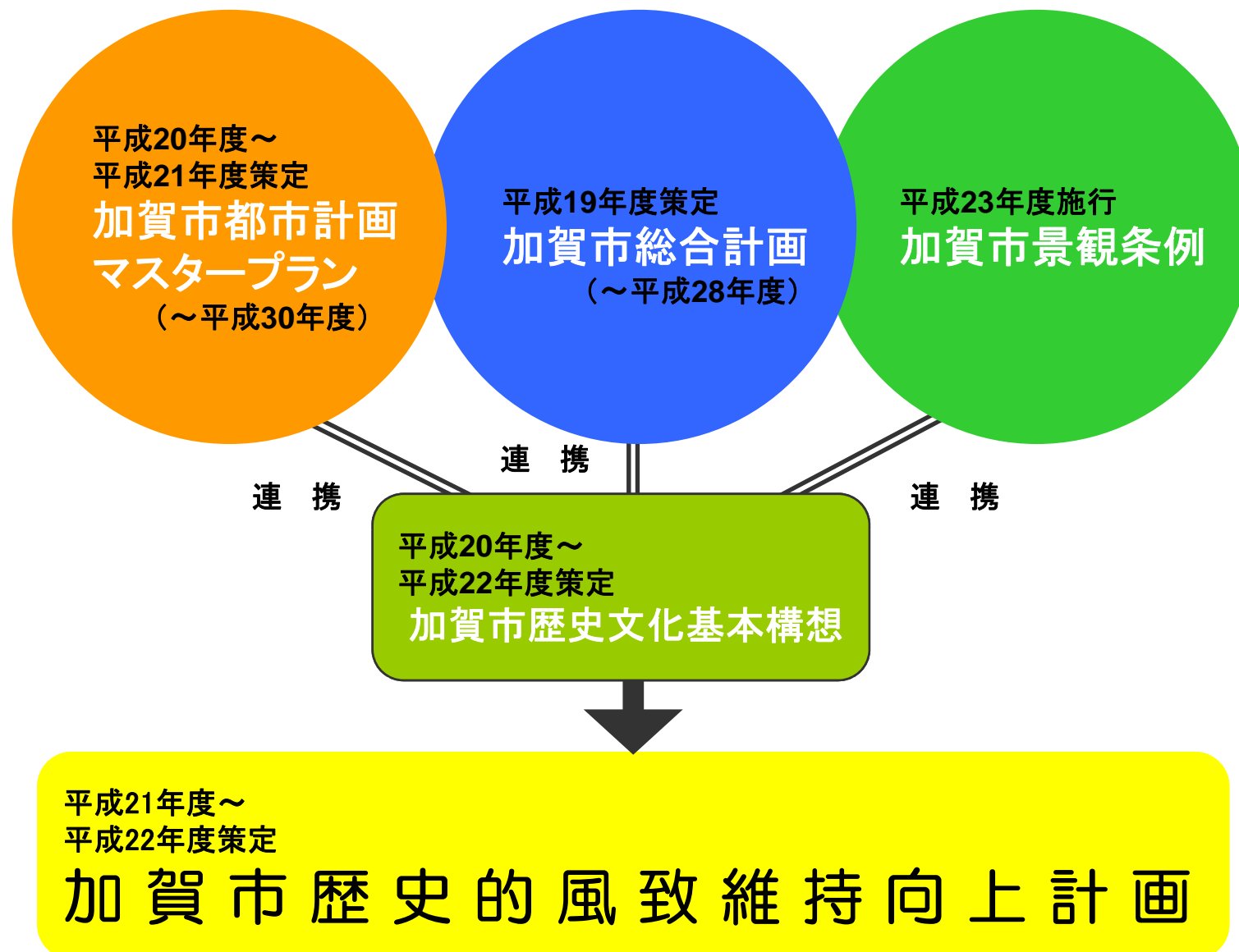
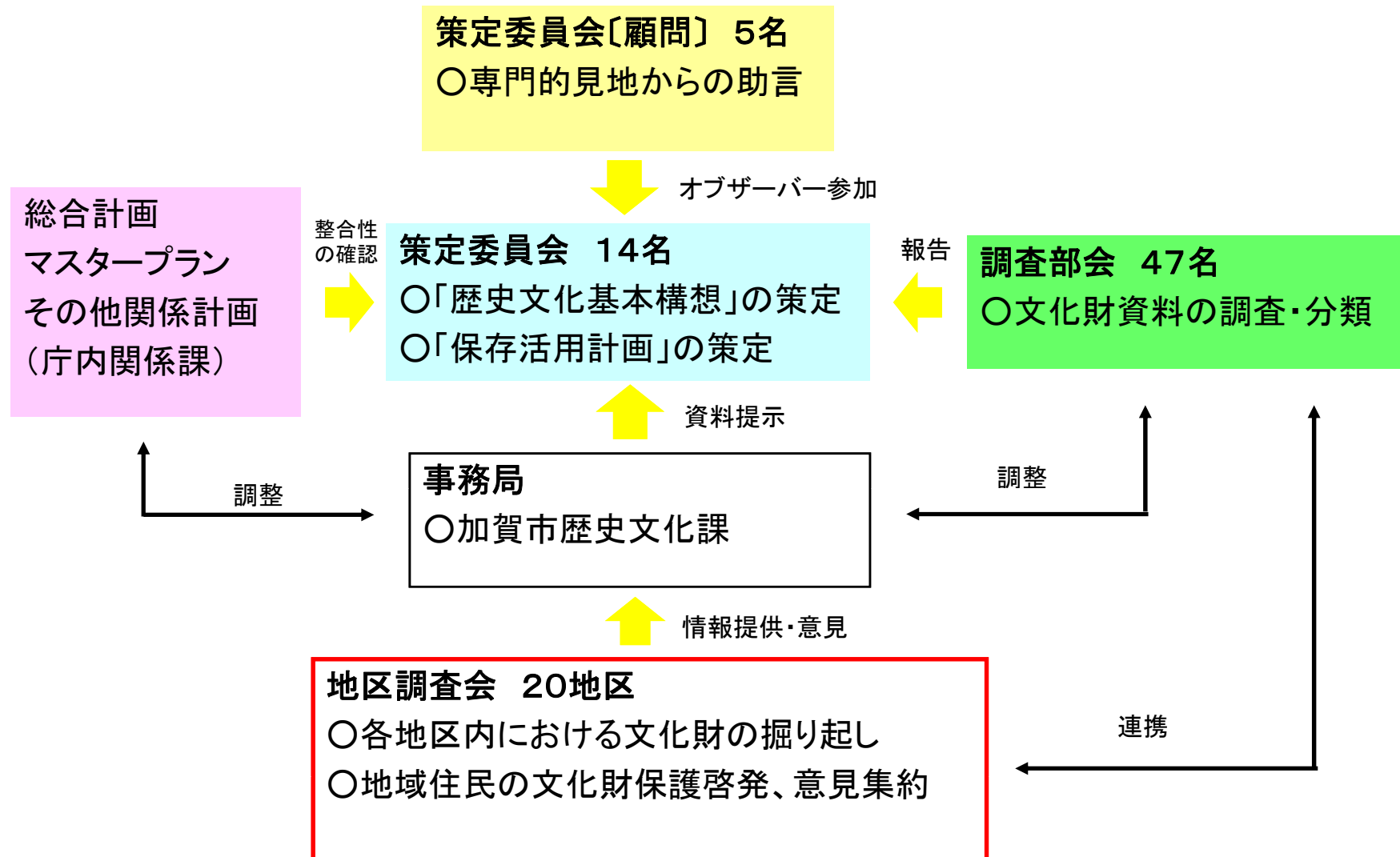


加賀市歴史文化基本構想



連携体制



加賀市の取り組み

①策定委員会(3回開催)

【検討事項】

- 加賀市歴史文化基本構想の策定手法について
- 加賀市の歴史的風土の特徴分析について
- 資産の歴史的背景について

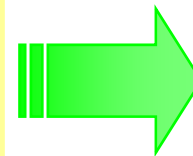
②文化財調査

○12のテーマで調査部会を発足

- ①城下町 ④山中漆器 ⑦温泉文化 ⑩信仰
- ②九谷焼 ⑤山村集落 ⑧産業遺産 ⑪街道宿場
- ③北前船 ⑥原始古代 ⑨自然遺産 ⑫食文化

○民間調査員の導入

- ・調査員47名のうち25名(22名は市職員)
- ・住民、郷土史家、観光ボランティア、教員で構成



歴史文化資産
数が増加しまし
た。

1,162件



427件

加賀市の取り組み

③地区説明会

市長自らが、市内全小中学校、地区会館等に出向き歴史文化基本構想について説明を行っています。



57箇所で開催
延人数
4,000人

【課題】

- 悉皆調査の範囲が広い(どこまで調査すべきか)
- 自然遺産をどの程度まで資産とし公表するか
- 加賀市特有のお祭りや獅子舞、厄年の伊勢参り等年中行事の把握
- 日常生活の中に埋没している文化(まちなみ、茶道、華道等)の洗い出し
- 加賀市外にあるが、影響が大きい資産(白山、吉崎御坊)の取り扱い